



学校だより

すべての命が輝く鎌田小学校

第十六号

校長 杉村 幸恵



鎌田マスコットキャラクター
くすのつき m.m

早くも十一月です

二上山の山肌も、紅葉が確認できる頃となりました。思わずぶるつとしてしまうような朝の冷えた空気の中を、ポケット

に手を入れながら登校してくる姿が見え始めました。それでも中には、上着を着ずに登校してくる子や、寒さを吹き飛ばすような元気な挨拶をしてくれる子もいます。私もつい背中を丸めてしまいそうになりますが、元気な子どもたちからパワーをもらい、努めて背筋を伸ばすようにしています。朝晩の気温差はありますが、晩秋の気持ちのよい時季です。

本校の子どもたちは外で遊ぶことも多く、暖かな日が差す休み時間には子どもの元気な声が運動場に広がります。このところは、休み時間に農園に向かう子どもの姿や、昨日から始まった県の陸上記録会に向けて全体練習に精を出す高学年の子どもたちの姿もあります。

自然に触れて自然から学んだり、思い切り体を動かす楽しさを味わったりして五感を刺激し、教室での学びを充実させてほしいと願っています。

「集会活動」を通して育つ子どもたち

感染症の拡大防止のため、制限された活動に集会活動があります。集会活動は、学級の活動として行うものもあれば、学校全体で行うものもあります。この活動は、子ども同士が『○○(何の)ために、○○(何を)したいのか。』という共通の目的をもち、どのような方法でその目的を達成



することができるのか、子どもたち同士が関わり合い、活動していくものです。集会を企画し、運営していく中で仲間と協力し、目的に向かってそれぞれが役割分担し、進むことができます。その成功体験が自信になり、さらなる意欲につなげることができます。その意味からも集会活動の意味は大きいのです。

全校が一堂に集まり、集会に参加することはできませんが、今はタブレットを使った動画配信という形で、子どもたちが活躍しています。先日は、放送委員会の子どもたちが、『全校みんなに聞いてみたい！』と題し、動画を作成してくれました。

『学校みんなに、学校の(知らない)ことを伝えたい。』これが、放送委員会の子どもたちの目的でした。最終的に、この日、動画で配信された内容は上の通りです。

全校みんなの疑問に答えます！

- ①わたしたち、放送委員会の仕事について
- ②かま田っ子のすきなものクイズ
- ③給食っていいな
- ④校長先生に聞きました
- ⑤学校のあの場所って、どうなってるの？

このためにはどんな内容を入れるのか、どんな情報収集が必要なのか、また、内容をより分かりやすくするためには、どのようなシーン(映像や画像)を入れるとよいのか(組み立て)等、委員会の子どもたちで協力し、役割分担や時間調整をしながら進めてくれました。情報収集のためには、前もって全校児童にアンケートを取ったり、それをまとめたりすることも必要です。

また、それらすべてを一つにまとめるためのナレーション(文章構成)も必要です。さらには、出来上がったものを自分たちで確認し、必要に応じてより分かりやすく(校正)する必要もあります。

このように、物事を達成するために、何をどのように段取りをしていくか筋道を考える、また、何がまだ足りないのか考え取り組む。まさにこれが今求められている「論理的思考」であり、さらに効率を重視したものが「プログラミング的思考」といわれるものです。

